

2009年度父母の会執行部定例会（第6回）議事録

日時： 2009年12月5日（土）午前09時30分～午後11時00分

場所： 補習校 父母の会室

出席者：マッコスカー、スペンサー、平松、藤本、シュリマー、姫野、田代、平田（資）、市村（行）、
秋山（図）、荻野（広）、奥秋校長
綾目（記）

1. 奥秋校長からの報告

- ◎ 2010 年度クラス編制については、審議会が決定する。校長から今年は余裕のある編制をお願いしているが、予算の兼ね合いもあるため、その辺りを検討することとなる。
- ◎ クラス編成については、各保護者がクラスの希望を伝えられるように、2月の終わり頃担任に相談する機会を設けることとする。しかし、相談内容の通りにクラス編成されるという確約はしない。
- ◎ 新年度のクラスについては、3月の授業最終日に各生徒に知らせる事とし、その後のクラスの変更はしない。
- ◎ 飲食について、「パラマス校からの申し入れにより、学校内で手作り品を飲食することを禁止する」という誤った情報が保護者の間で流れていたが、奥秋校長からパラマス校に確認したところ、「補習校が自分たちの学校の時間で行なうことであり、食中毒、やけど、アレルギーなどに対して自分たちで管理し飲食することに問題はない」との回答があった。そのため、補習校では、以下の条件の下、飲食を行うことを認める。
 - －授業の一環として生徒が行う飲食は校長の許可をもらうこと。
 - －保護者から保護者への販売は認める。（手作り品も可）しかし、生徒への販売、譲渡は禁止とする。
 - －謝恩会などは校長に許可をもらうこと。（学校指定の許可書を使うこと）
- ◎ 教師の能力に関することで保護者から意見をもらうことがあるが、校長には、教師の能力向上を目的に指導していくことが義務付けられているが、教師の任命に関する権利は審議会にあり、校長は任命に関することには口出しできない。しかし、教師として成績不良がある場合に対応していけるように、校長が今年9月に就業規則を細部にわたって修正し、来年4月から施行できるよう審議会に検討を依頼している。その中に、校長が先生の評価をしなくてはならないという規則も盛り込んであり、これまで評価を受けることがなかった先生方に緊張感を持って授業に望んでもらうような体制作りをしている。同時に、事務所内勤務者の就業規則についても作成中している。

2. 新役員・委員の選出について

- ◎ 日程の説明
 - 12月5日：調査票配布、12月12、19日：回収、12月26日：予備日
 - 1月9日：立候補者の決定、1月16日：本抽選、
 - 1月23日：新役員・委員の初顔合わせ
- ◎ 初顔合わせの時、各委員会のミーティングには、現委員長が進行役として取り仕切ってもらうよう依頼。その際、委員長、副委員長などの役職決めと名簿作成のために氏名と連絡先を記入してもらうこ

ともお願いした。(詳細については次回 1 月 9 日の定例会でお願いする) また、1 月 23 日は英語検定日と重なるため(会場は補習校ではない)、時間の変更の可能性がある(要確認)。

- ◎ 今年度のように委員会に立候補がいなかった場合、27 名が抽選で選出され、初顔合わせでどの委員会になるか決定してもらうことになるが、その場合には、執行部役員と同様、じゃんけんで勝った人からどの委員会がいいか決めてもらう。ただ、立候補で決まる可能性が高いため、この決定は、次回定例会(立候補者の決定の後)のときに再度詳細を検討する。

- ◎ 行事委員会から、新年度初日に行う写真撮影について、委員会定数 4 名では対応ができないので新旧委員 8 名で対応している。しかし、今年は現委員 2 名が卒業で 4 月には手伝うことができない、という意見があった。

←ボランティアを募る、または、旧々役員に応援を頼むなどの意見があがった。旧役員、旧々役員に応援を頼むことについては、引継書に明記しておき応援依頼しやすいようにするなどの対応も取り入れたらどうか。

3. 会計(藤本)からの報告

- ◎ 会計中間報告として資料の通り説明があった。予算消化について問題になるような点はなかった。

- ◎ 次年度予算について各委員の要望を伺った。

ー図書委員会：今年度と同じ

ー広報委員会：サーバー費用などは執行部で負担しているため今年度予算はもらっていない。従って、次年度も予算なしでよい。ただ、サーバーが使いにくいいためサーバーを変更する予定。その費用は未定だが現行とほとんど変わらないと思われる。(確認後連絡)

ー行事委員会：景品の購入に充てるため、今年度 100 ドル予算を上げて 500 ドルとしてもらったが、今年購入した景品が半分残ったため、次年度予算は 400 ドルに戻してもらってよい。

ー資金調達委員会：今年度と同じ

ー教育企画：今年度は教育拡充費 700 ドルの予算に対して、幼児部から本等の購入依頼しかなかったが、次年度は依頼が増える可能性もあるため、今年度と同じ予算を希望。

ー卒業祝い金：変更なし

4. 資金調達委員からの報告

- ◎ 今年度は、企業からの寄付金 5800 ドル、掘り出し物市の収益金 898 ドル、合計 6,698 ドルの資金が調達できた。

- ◎ IACE トラベルから日本行き航空券に使える商品券を 100 ドル×10 名分の寄付があった。これについて、どのように配布したらよいか。

→保護者に希望を募っており締め切りは 12 月 19 日となっている。希望者があり、10 名以下であればそのまま希望者に無料で渡すこととする。希望者の応募先は父母の会メール(メールが届いたら、委員長に転送し対応する)

5. 図書委員会から報告

- ◎ バス係から、バス利用者会のファンドを目的に、家庭で調理したお菓子を図書室で保護者を対象に販売したいという申し出があった。12月19日から一ヶ月間、どの位の収益が見込めるかテスト期間として開始することに決定した。2月の定例会で利用状況を報告する。
- ◎ 個人の利益目的でなければ今後も図書室の一部を使用してもらうことは前向きに検討して行きたい。より多くの人に図書室に来てもらうきっかけになればよいと考えている。
- ◎ 今年の読書週間は去年の倍の参加者があり参加賞を配った。一昨年より感想を書く欄を減らしたのは去年と同様、優秀賞などを決めることもせず参加してもらうことを主とした形式が浸透したため気持ちを楽にして参加できたのではないかと思う。

6. クラス係選出について

- ◎ これまでの選出の問題点を各委員長に説明し、クラス選出時に免除者が多すぎて該当者がいないクラスがあることを説明した。
- ◎ 委員会の免除期間について、委員長は現行通り2年のまま、各委員については現行の2年から1年に短くしてはどうか、という案を執行部から提出し各委員長に意見を伺った。
←各委員会の仕事内容を考えると、各委員が同等量の仕事内容をこなしているため、全委員を現行のまま2年として欲しいという意見が多数だったため、現行のまま免除期間は2年とする。
- ◎ 役員選出とクラス係選出をまったく別のものとし、役員をやってもクラス係はやる、また、子供一人に付き役員、クラス係などの仕事を行う、など執行部と同じ意見が出た。再度検討していかなければ行けない。

*次回定例会日程： 1月9日（土） 1：00～（12月30日までに議題を連絡のこと）